



千年の風土を未来につなぐ NEW 黒田庄づくり — 黒田庄地区まちづくり (概要) —

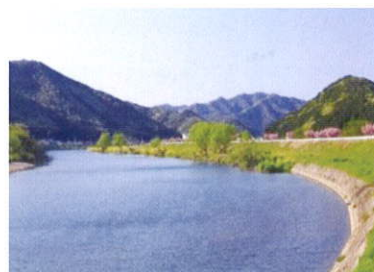


加古川に沿って広がる西脇市黒田庄地区は、「播磨国風土記」の昔から千年以上栄えてきた、自然、歴史、レクリエーション施設に恵まれたところです。人々はやさしく、伝統的なコミュニティも維持され、交通や買物、医療・福祉などにも比較的恵まれてきました。しかし、少子高齢化や若者の転出などとともに、人々のふれあいや地区の活力が低下するなど様々な問題が見られるようになってきました。

平成20年3月に「西脇市黒田庄地区まちづくり計画」を策定し、様々な取り組みを行ってきましたが、地区をとりまく環境が変化し、見直す必要が生じました。また、人口減少などに対応し、地域の特性を生かした自治を推進するために市が進めている「地域自治協議会」のモデル事業の実施に向け、具体化が必要でした。

この計画は、地区住民による計9回の「くろっこ会議」を通じて、約10年先を見通したまちづくり計画として作成したものです。黒田庄地区に住む私たちは、黒田庄の様々な資源を活かし、様々な人・団体と連携しながら、新しい黒田庄のまちづくりに取り組みます。みなさんの参加・協力をお願いいたします。

平成29年（2017年）3月 くろっこ会議
代表 長谷川 俊雄（黒田庄地区まちづくり住民会議会長）



加古川

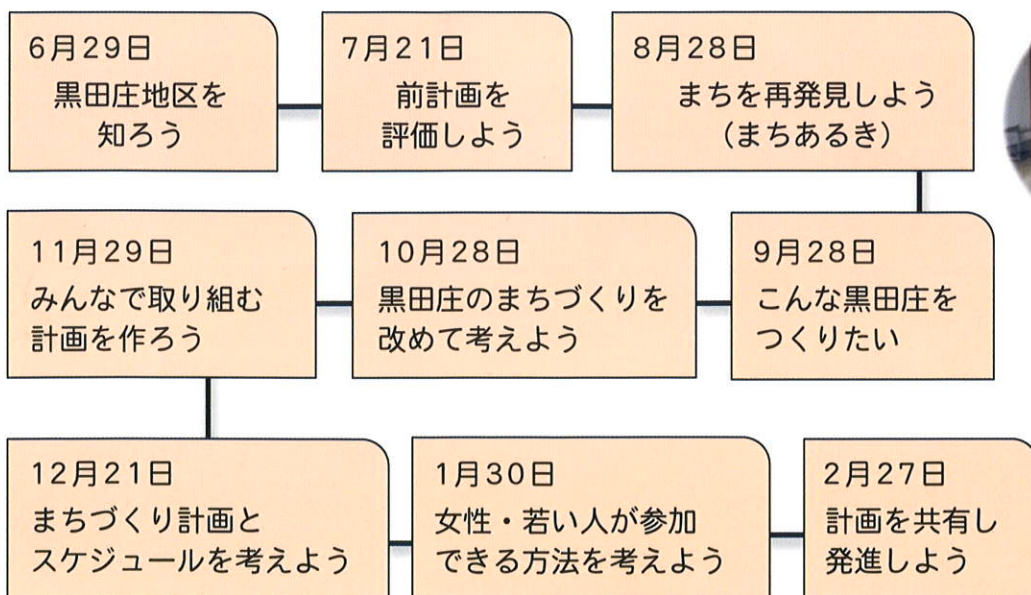


兵主神社



日時計の丘公園

くろっこ会議の流れ



まちづくりの目標と方針

〈目標〉 千年の風土を未来につなげる
NEW黒田庄づくり

〈方針〉 ●元気なコミュニティをつくります。
●持続する黒田庄づくりに力を合わせます。
●活力ある新しい黒田庄を開拓します。



まちづくりの取り組み

※地域自治協議会に参加する多様な団体・人が話し合い、できるものから具体化・実現化していきます。変更が必要な取り組み、新しく必要になる取り組みにも柔軟に対応します。

1 ふれあいのある黒田庄づくり

①多世代の交流・学習の場づくり

- ・お茶を飲みながら交流したり、若い世代が夢中で取り組める場づくり、魅力ある学習・スポーツプログラムの開催などを進めます。
例：トライアルカフェ（黒っこプラザ）、空き家等を活用した若者向けカフェ、女性・若者によるNEW黒田庄づくりの検討



コミセン（黒っこプラザ）

②黒田庄夏まつりの活性化

- ・西脇市民を対象にした楽しい夏まつりを継続開催します。

③「ひろば」の活用

- ・黒っこふれあい広場、あつまっ亭の楽しい活用や管理の方法について研究し具体化します。



カヌー教室（秋谷池）

2 暮らしやすい黒田庄づくり

④地域ぐるみの福祉の推進

- ・安心できる子育て環境づくり、高齢者と子どもの交流の場づくり（例：遊び、野菜づくり）、高齢者が在宅で安心して暮らせる環境づくりなどを進めます。
- ・福祉送迎車の有効利用、買物困難地区支援の検討を進めます。

⑤田畑・山・空き家の管理・活用、環境保全

- ・休耕田の管理組織づくり、空き家の活用（例：カフェ、Iターン者用住宅）、自然環境の保全（門柳川・宮池など）をめざします。



NEW黒田庄を担う子どもたち

⑥防災・防犯、交通安全

- ・ 地区全体の防災体制の強化を進めます（消防団員の少ない町の支援、若い人の少ない昼間の消防体制など）。生活環境の整備を進めます（道路、水路、ミラー、防犯灯、防犯カメラなど）。



黒田庄和牛のローストビーフ

3 魅力ある黒田庄づくり

⑦黒田庄の特産品づくり

- ・ 黒田庄の特産品の発掘や開発、広報・PRを進めます。
例：日時計の丘公園と連携した和牛料理コンテストなど
- ・ 特産品の販売や情報提供などの拠点整備をめざします。
（あつまっ亭の拡充、国道175号沿い拠点の整備など）。



荘厳寺

⑧歴史と文化のまちづくり

- ・ 黒田庄地区の歴史・文化資源を探訪できる「(仮称) 官兵衛の里」づくりを進めます。※荘厳寺～姥が懐～滝尾神社～末谷公園の史跡・案内板の整備、観光ルート・ガイドブックの作成など。
- ・ 黒田庄地区による「官兵衛まつり」の開催、観光ガイドの養成をめざします。



日時計の丘公園 (キャンプ場)

⑨観光レクリエーションの推進

- ・ 門柳川沿いの自然とレクリエーション資源を楽しめる「(仮称) 門柳川観光レクリエーションゾーン」の整備、共同イベント開催、広報・PRなどを進めます。※日時計の丘公園～フォルクスガーデン～ふれあいスタジアム～秋谷池～特産開発センター～白山～福谷池・稲荷神社
- ・ JR加古川線の利用促進を進めます。

●黒田庄地区のあらまし●

4 成長発展する黒田庄づくり

⑩地域自治協議会の設立・運営

- ・ 多様な団体・人の参加によってNEW黒田庄づくりを進める地域自治協議会を設立・運営します。

⑪人材の育成と活用

- ・ NEW黒田庄づくり検討などを通じて次代を担うリーダーの育成を進めます。

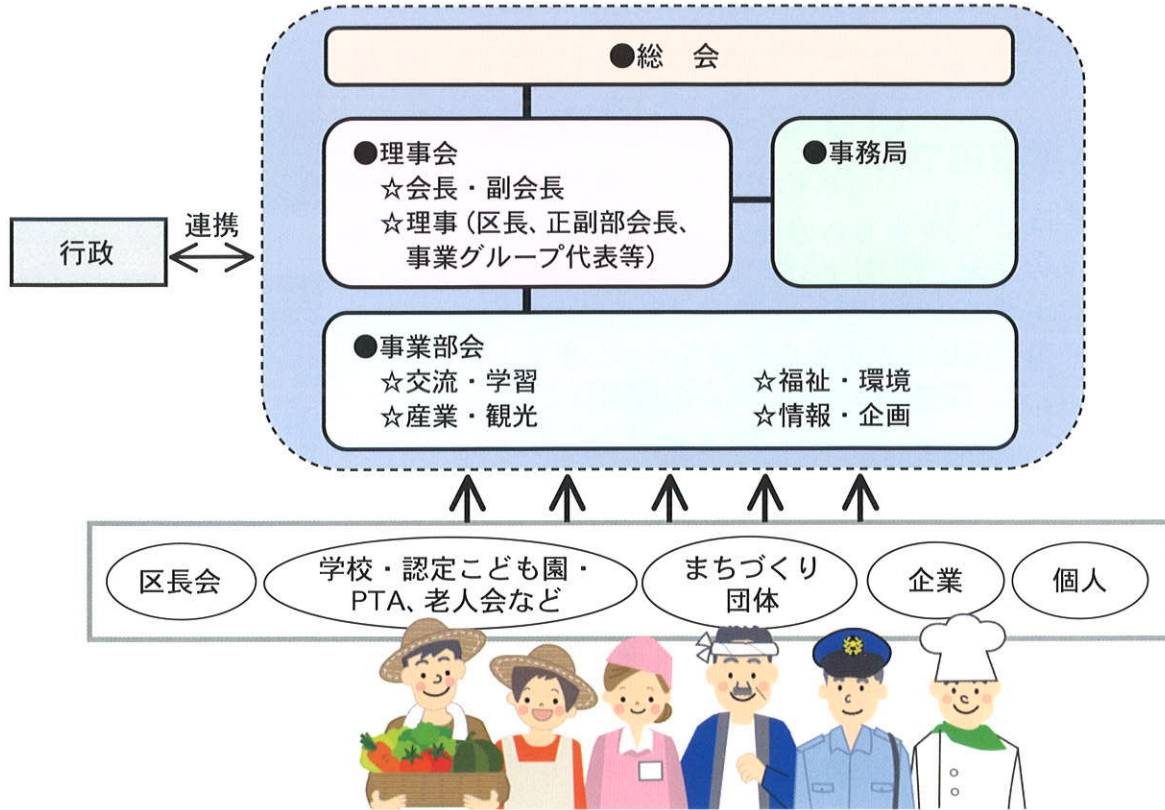
⑫情報の発信

- ・ 魅力ある「黒田庄つうしん」の発行、SNS等を活用した情報発信を進めます。



地域自治協議会のイメージ

(仮称) 黒田庄地区地域自治協議会



まちづくりの進め方

※重点的に取り組む内容を示す

| | 1～2年 | 3～5年 | 6年～ |
|----------------------|---------------------------------------|-------------------------|-----|
| ①多世代の交流・学習の場づくり | トライアルカフェ → 充実 女性・若者によるNEW黒田庄づくりの検討 | 講座・教室の開催・充実 | |
| ④地域ぐるみの福祉の推進 | 福祉送迎車の活用 設置する車両の検討 | 高齢者と子どもの交流の場づくりなど具体化 | |
| ⑤田畑・山・空き家の管理・活用、環境保全 | | 管理組織の設立 | |
| ⑦黒田庄の特産品づくり | | 特産品の発掘・PR→開発 | |
| ⑧歴史と文化のまちづくり | | 官兵衛の里づくりの整備 観光ガイドの育成 | |
| ⑨観光レクリエーションの推進 | 関係団体によるゾーンづくり | 共同イベント、広報・PR | |
| ⑩地域自治協議会の設立・運営 | 地域自治協議会の設立・柔軟な組織運営 | | |
| ⑪人材の育成と活用 | | まちづくり研究会などによる人材づくり | |
| ⑫情報の発信 | | SNS等による情報ネットワーク | |